

授業科目名 (英文表記)	地域統合論 (Regional Integration)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	高田 公		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 令和3年12月25日(土) 13:00~17:00	第3回 令和4年2月5日(土) 13:00~17:00	
	第2回 令和4年1月8日(土) 13:00~17:00		
【授業のねらい・概要】			
<p>現在、世界的に自由貿易協定(FTA)などの地域統合の動きが活発化しているが、その最も発達した形が、欧州連合(EU)である。EUは、その前身の創設から60年間以上にわたる地域統合の過程において、6カ国から28カ国(英国の離脱により現在は27カ国)へと領域の拡大を続けるとともに、関税同盟と農業共同市場などから単一市場、通貨統合にまで統合の内容を深化させ続けてきている。本授業では、このもっとも発達した地域統合であるEUを取り扱っている文献を取り上げ、解説し、議論する。</p>			
【授業計画】 ※授業は以下の構成に沿って進めますが、内容を変更する場合があります。			
第1回 『ヨーロッパ統合史』(教科書 第1部)			
EUの前史から、その前身にあたる欧州石炭鉄鋼共同体や欧州経済共同体の設立、冷戦終結後のEUの発展を経て、最近のEUが直面する複合的な危機に至るまで、ヨーロッパ統合の歴史的展開について学習し、その後に議論を行います。			
第2回 『EUの政治制度と政治過程』(教科書 第2部)			
EUの60年以上にわたる統合プロセスの結果として構築された、EUの政治制度と、政策決定プロセスについて学習し、その後に議論を行います。			
第3回 『EUの政策』(教科書 第3部)			
EUの活動内容として、EUの諸政策のうち、経済政策、社会・移民政策、対外政策について学習し、その後に議論を行います。			
【到達目標】			
本講義の到達目標は、EUの歴史・政治・政策等について理解を深め、地域統合について理解することとします。			
【教科書】			
池本大輔ほか著『EU政治論——国境を越えた統治のゆくえ』(2020年)、有斐閣。			
【参考書】 ※購入は必須ではありません。			
森井裕一編『ヨーロッパの政治経済・入門』(2012年)、有斐閣。			
田中素香ほか著『現代ヨーロッパ経済 [第5版]』(2018年)、有斐閣。			
【成績評価方法】			
議論への参加状況などにより総合的に評価します。			
【授業時間外学修についての指示】			
各回の授業までに、事前に教科書を読んでおいてください。また授業で解説した内容について、復習をして下さい。			
【履修上の注意・メッセージ】			
何か質問があれば、担当教員宛にメール(ktakata@wakayama-u.ac.jp)にて問い合わせて下さい。			
※基本的には対面での実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。			